

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	BOSCOKIDS磐梯		
○保護者評価実施期間	2026年2月6日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年2月6日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応と密な家庭連携	・ICT(LINE等)を通じた迅速な活動報告と写真を用いた視覚的な情報共有を徹底。	・家族支援の充実：保護者交流会の検討及び家族支援プログラムの提供体制の整備。
2	適切な支援と環境構成	・五領域支援に基づき、伝統行事や季節イベントを織り交ぜた多角的な支援を展開。 ・子どもの特性に合わせた視覚的な構造化(パーティション等)。	・さらなる支援の深化。 ・環境の整備：修繕が必要な個所の修繕計画の策定と実施。
3	関係機関連携	・学校、相談支援事業所などの関係機関との円滑なチームアプローチ	・地域交流機会の連携模索。 ・地域社会への包摂を目的とした交流プログラムの拡充。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者・ご家族の交流機会の創出	・コロナ禍以降、失われていたご家族同士の繋がりを取り戻す取り組みが無かった。 ・3市町をまたがる行政区からの利用児童となっており、広範囲ゆえの難しさがある。	・保護者会やきょうだいで参加できるイベントの企画・開催の検討。 ・悩みを共有しあえる「ピア・サポート」の場づくり。
2	家族支援プログラムの充実と情報発信	事業所からの積極的な研修機会の提供が不足していた。	・ご家庭での療育や子育ての悩みをサポートする機会をもっと身近にしていく。 ・専門家を招いた事業所内での勉強会や相談会の実施を検討していく。 ・地域の支援プログラムや有益な情報の積極的なアナウンス(お便りやLINEでの配信強化)。
3	設備の補修と活動しやすい環境づくり	アンケート内の「バリアフリー化や情報伝達への配慮」に関する項目で、一部「分からない」といったご意見があり改善の余地が見受けられた。	・子どもたちがより安全に、そして落ち着いて活動に集中できる「空間」を維持・向上させていく必要。 ・老朽化した設備部分の点検・順次補修・入れ替えの検討。 ・子どもたちにとって「何をやる場所か」が視覚的にわかりやすいレイアウト(構造化)の再構築と向上。